課題整理総括表

利用者：　①　　作成日

自立した日常生活の阻害要因（心身の状態、環境等）	④	⑤	③ ⑥

利用者及び家族の生活に対する意向	

状況の事実 ※1		現在 ※2	要因※3	改善/維持の可能性※4	備考（状況・支援内容等）
移動	室内移動	自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
	屋外移動	自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
食事	食事内容	支障なし　支障あり			
	食事摂取	自立　見守り　一部介助　全介助		改善	
	調理	自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持	
排泄	排尿・排便	支障なし　支障あり		改善　維持　悪化	
	排泄動作	自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
口腔	口腔衛生	支障なし　支障あり		改善　維持　悪化	
	口腔ケア	自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
服薬		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
入浴		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
更衣		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持　悪化	
掃除		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持	
洗濯		自立　見守り　一部介助　全介助		改善	
整理・物品の管理		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持	
金銭管理		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持	
買物		自立　見守り　一部介助　全介助		改善　維持	
コミュニケーション能力		支障なし　支障あり		改善　維持	
認知		支障なし　支障あり		改善　維持	
社会との関わり		支障なし　支障あり		改善　維持　悪化	
褥瘡・皮膚の問題		支障なし　支障あり		改善　維持　悪化	
行動・心理症状(BPSD)		支障なし　支障あり		改善　維持　悪化	
介護力（家族関係含む）		支障なし　支障あり		改善　維持	
居住環境		支障なし　支障あり		改善　維持　悪化	
				改善　維持　悪化	

見　通　し ※5	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）【案】	※6

③　収集した情報に基づき、利用者の自立を阻害している根本的な要因、特に「状況の事実」の「現在」欄で「自立」あるいは「支障なし」以外で選択されている項目の要因を分析した上でより根本的で重要な要因を最大6項目に絞り込み、記載する

⑥「状況の事実」欄の「現在」あるいは「改善／維持の可能性」に関して補足すべき情報を記入する

⑧訪問や利用者・家族との面談を通じて把握した利用者及び家族が望む生活の意向のうち、課題を抽出する上で重要と思われる情報を整理して簡記する

②事前に利用者宅訪問や面談、関係者や他の専門職からの申し送り等で**把握した情報（事実）に基づき、日常的にしているかどうかを判断**して記載する

見守り：
見守りや声かけを受けるが一連の動作のほぼ全てを支障なく実施している
一部介助：
一連の動作の一部について介助を受けて行為を実施している
全介助：
一連の動作のすべてあるいはほぼ全てについて介助を受けて行為を実施している。

⑨「見通し」欄の記入内容を踏まえて記入。「利用者が望む生活」が捉えられていることが前提

⑦利用者の自立した日常生活を妨げている要因」の解決に向けて、多職種からのアドバイスを受けつつ、当該ケアプランの短期目標の期間を見据えて、「どのような援助を実施することにより」（要因の解決のために必要と考えられる援助内容）、「状況がどのように変化することが見込まれるか」（援助を利用した場合に到達が見込まれる状態）を記入する

④「状況の事実」の「現在」欄で、「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について、その要因として考えられるものを、「自立した日常生活の阻害要因」欄から、選択し、その記載した番号を記入する複数の要因が考えられる場合は、複数の番号を記載して良い

⑩課題の優先順位を踏まえて、数字を記入。利用者とすり合わせた結果、当該期間のケアプランに反映できなかった課題については「－」印を記入する。

⑤「状況の事実」の「現在」欄で「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について現在の認定有効期間を見通して、必要な援助（介護保険サービスだけではなく、インフォーマルな支援も含む）を利用した場合に「現在」の状況が改善／維持する可能性の有無を検討し「改善」「維持」「悪化」のいずれかに〇印を記入する

※1　本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
※2　介護支援専門員が収集したた客観的事実を記載する。選択肢に〇印を記入。
※3　現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号（丸数字）を記入する（複数の番号を記入可）。
※4　今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に〇印を記入する。

※5「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況（目標）を記載する。
※6　本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「－」印を記入。